

ケーブル局が共同開発

多チャンネルを“一発”選局 加入訴求ツールに!!

山形県米沢市、函館市、新潟市の3地区でケーブルテレビ事業を展開する(株)ニューメディアは、放送中の番組を分割画面(動画)で見られる『ご案内チャンネル』を開発した。多チャンネル加入訴求に役立つと、他の局からの問合せも多い。ニューメディアと、共同開発した(株)メディアキャストの2社取材した。



▲ニューメディア新潟センター

特許出願中 放送中の
20チャンネルの映像が一目瞭然

ニューメディア(以下NCV)で共同開発したこの『ご案内チャンネル』は、コミチャンネルのデータ放送のシステムを利用し、多チャンネルで放送中の動画を切り替えて見せている。(現在は40画面を20画面【A・B画面】ごとに切り替えている)ザッピングチャンネル、マルチ画面選局とも呼んでいる。

A・Bの切り替えは20秒でも30秒でも局で自由に設定でき、選択した画面にはチャンネル名が目立つように表示される。そして利用者がリモコン決定ボタンを押下すると、そのチャンネルの映像が画面いっぱいに出てくる。

開発に当たったNCV常務取締役新潟センター長の河



▲河西弘太郎センター長(開発は、函館センターの茶谷文哉氏とともに)

西弘太郎氏は開発した狙いを、「アナログ放送時代、加入者に好評だった分割画面を、デジタル放送ならではの機能を付加し復活させ、多チャンネルサービスの活性化したかった。

EPGも録画には便利だが、テキスト情報だけでは番組イメージが湧かないので、視覚に訴えられるのが効果的」と語る。このシステムは、現在特許出願中である。

『ご案内チャンネル』の特徴

「インターネット接続なしでも見られる」…解約防止にデータ放送システムを利用してあるので放送信号の中で完結しているため、インターネットと接続してなくても

利用できる。

河西氏は「画面選択と同時にチャンネル名が表示され、何のチャンネルかがすぐ分る。多チャンネル加入者も、普通、4、5チャンネルだけ。このシステムにより、普段見えないチャンネルでも面白そうな映像が流れていれば、そのチャンネルを見たい。より多チャンネルに興味が増し、解約防止に繋がる」と、その効用を話す(画面1)。

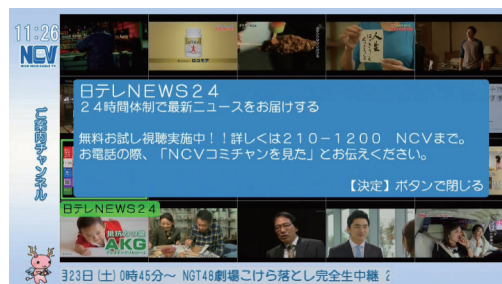
「多チャンネル未加入者にも有効」…集合住宅対策に

『ご案内チャンネル』のいちばんの目的は横ばいとなつて、いる多チャンネル加入者をいかに伸ばすかにある。

OFDMで流す『ご案内チャンネル』は、地上波再放送のみのお客も対象としているのが大きな特徴で、多チャンネルでどういった番組が放送されているかを一目で知ることが出来る。

リモコンで選択した画面を押すと、「チャンネルの放送内容と視聴方法」がポップアップ表示(画面2)されるので、リアルタイムで加入促進が期待できる。

▼画面2・案内表示



▲画面1・20分割画面

「STBの機種を選ばず」

動作検証は必要とするものの、基本的には古いタイプのSTBでも分割画面を見て選択したチャンネルに移ることが可能である。

「スクロールで情報を流せ、第2コミチャンネルとしても有効」

付加機能として分割画面の下部に、L字スクロールで文字情報を流せるのも便利。地元のニュース、天気、さらに番組連携情報など、何でも流せるのが魅力である。そのため、地域情報チャンネルとして活用している第2コミチャンネルのコンテンツとしても有力で、多チャンネル訴求と

地域情報チャンネルとしての相乗効果が期待できる。

ご案内チャンネルのシステムを見る

このご案内チャンネルの開発は、NCVとデータ放送システム会社のメディアキャストが共同開発したものである。NCVはA面B面の「同期信号生成装置」を開発。これは映像とデータを、選んだチャンネルでデータ放送の信号と同期させる心臓部分である。

メディアキャストは、画面切替を含むデータ放送との連携全般を開発担当した。

データ放送での画面切替では、瞬時に受信機を制御する必要がある、「イベントメッセージ」を使い、チャンネルの選局とチャンネルの枠の色を1秒もかからないで変えることができる。

高度な送出機能で実現

『ご案内チャンネル』は、データ放送技術の中でも高度な送出機能を駆使している。1台のデータ放送装置で第1コミチャンネルと第2コミチャンネルに独立したコンテンツ

を同時に送出する「マルチサービス」と、20分割された複数枚の画面を瞬時に切替えるための「イベントメッセージ」

「セージ」である。メディアキャスト製データ放送装置「DataCaster M3」は、この2つの送出機能を標準で搭載することで『ご案内チャンネル』を実現した。

構成上最も

重要なポイント

は、この「同期

信号生成装置」

が画面の切替タ

イミングを、映

像スウィッチャー

と「DataC

aster M

3」へ同時制御

し、映像とデー

タ放送の切替

同期を担ってい

る点である。つ

まり「Data

Caster M

システムの問合せ先

(株)メディアキャスト

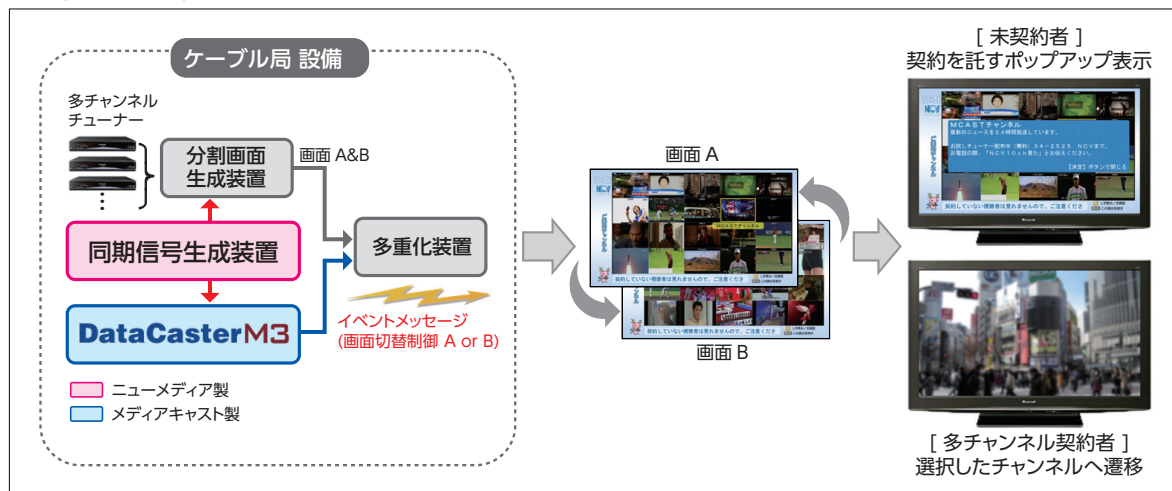
- TEL : 03-6892-3211
- E-Mail : info@mcast.co.jp
- URL : http://www.mcast.co.jp/

広告



▲「NGT48」の出演番組

■図(システム図)



▲メディアキャストで開発に当たった取締役 事業統括本部長 河野篤彦氏(右)と企画グループリーダー 林昌孝氏